

2018年10月6日 (土)

# BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

## 第82回 北海道とバイオミメティクスを考える その6 博物館の役割

日本には国立の自然史博物館はありません。我々は日本で初めての国立自然史博物館を沖縄に創るための運動を推進しています。国立自然史博物館は、自然環境の変遷と人類の生存・発展との関係を研究することで、人類の持続可能性を探ります。自然史標本を展示することで、自然災害の被害の有様等々、過去から得られる様々な教訓を人々に知らしめ、未来へ継承します。さらに、新しい自然資源を探索するほか、バイオミメティクス等の

様々な先端的学術目的を果たします。国立自然史博物館は、自然の多様性のホットスポットでありながら研究の進んでいない東・東南アジアを見据え、沖縄に設立します。



# 日本で初めての 国立自然史博物館を沖縄に！

## 馬渡 駿介

北海道大学名誉教授・  
一般社団法人国立沖縄自然史博物館  
設立準備委員会理事

主催：北海道大学総合博物館  
共催：高分子学会北海道支部  
北海道大学 電子科学研究所  
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会  
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター  
北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館/1階「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目  
時間：午後1時30分から午後3時30分